

(2022年1月4日~)

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午 前 来	外	1診	山下(和)	山下(秀)	重本	西澤	荒川	重本
		2診	土井俊樹	西澤	水入(腎臓内科)	水入(腎臓内科)	山下(秀)	山下(和)
		3診	佐々木	大下	土井俊樹	中野(喜)(呼吸器内科)	大下	佐々木
		4診 DM	内藤(則)	小林(貴)	内藤(則)	向井	向井	DM 広大
		5診	安達	原田	DM/11:00~特定健診 田中	小林(貴)	松坂	(第1・3・5週目)／(第2・4週目) 土井俊樹(整形外科)／岡野(整形外科)
		6診 初診	森井	松坂	大久保	森本	長澤	小林(知)
		7診	藤井(血液内科)	藤田	藤田	藤田	藤田	広大
		8診	—	—	—	—	—	長澤
午 後 来	外	1診	15:30～16:00(予約) ／16:00～18:00 荒川	15:30～16:00(予約) ／16:00～18:00 有吉	15:00～16:00(PD) ／16:00～18:00 土井俊樹	15:30～16:00(予約) ／16:00～18:00 大久保	15:30～16:00(予約) ／16:00～18:00 弓場	15:30～16:00(予約) ／16:00～18:00 有吉
		2診	14:30～16:30(不定期) 呼吸器 濱田	14:00～16:00/16:00～18:00 呼吸器／一般内科 宮本	16:00～18:00 弓場	14:00～16:00 PD 西澤	16:00～18:00 呼吸器 濱田	15:00～17:00 DM 広大
		3診		14:20～16:00 CKD 水入	15:00～18:00(第2・4週) 血液内科 西澤(正)	14:40～16:20 CKD 水入	14:30～16:00 CKD 西澤	16:00～18:00 CKD 森井
		4診	14:30～17:30 (中島)	14:00～16:30(第2・4週) 循環器 中野(由)	—	—	—	—
		5診	14:30～17:30 中島	15:30～17:30 原田	16:00～18:00 呼吸器 中野(喜)	—	12:00～14:00 移植シャント外来 札幌	—
		7診	13:00～16:00 フットケア 大下	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 荒木	14:00～17:00 循環器 秦	—	13:30～17:30 リウマチ・膠原病 舩田	—
		8診	—	14:30～15:00/12:00～14:00 HHD 西澤/移植シャント外来 札幌	—	—	—	—

一陽会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035

〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号
TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-8610 FAX 082-943-8600

〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F
TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F
TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-7773 FAX 082-943-8600

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号(原田病院内)
TEL 082-925-6222(訪問看護) 082-925-6221(居宅介護)
FAX 082-925-6223(共通)

〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号
TEL 082-943-8686 (ケアレジンス楽々園)
082-943-8585 (デイサービス楽々園)
082-943-7088 (ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588 (共通)

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161(代) FAX 082-921-8035
ホームページ <http://www.icy.or.jp> E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見・ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

周边地图



新しい年がスタートしました。今年の干支は「寅」ですが、正式には「壬寅（みずのえとら）」という年にあたるそうです◆本来の干支とは「十二支（じゅうにし）」と「十干（じゅうかん）」とを組み合わせたものらしく、十二支は時間を表し「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」12種の動物を当てはめ、これに空間を表す十干「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」10の要素を組み合わせるのが60種からなる「干支」になるそうです。双方を組み合わせた干支を六十干支（ろくじゅうかんし）といい60年で一巡します。「還暦」とは60干支が一巡し、元に戻ることに由来しているそうです◆「壬寅」は厳しい冬を乗り越え新しいステージに向かう準備段階にあたる年と言われています。「壬」は「妊」に通じ「エネルギーを蓄える」という意味を持ち、寅は「贖（ミズ）」に通じ、ミズが土の中を動きだす頃から作物が実り始めるイメージから「新しく動き始めた段階」という意味があるそうです◆コロナ禍は未だに先が見えない状態ですが、壬寅の今年、いよいよ厳しい冬をのり超え新たな成長に向けて動き出す段階に入る年になるよう皆さまと共に願ひ続けたいと思います。



一陽会広報誌

令和4年

冬号

vol.70



撮影：臨床工学科 加島みゆき

1 愛情ある奉仕の心を以って地域医療・介護に貢献する。 2 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努める。

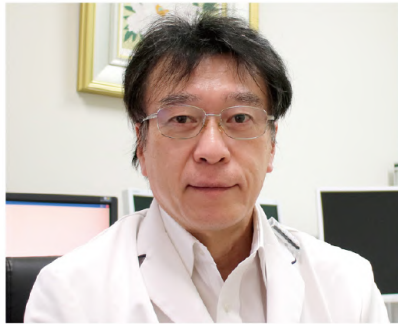
3 誠心と創意工夫を以ってその職責を全うする。 一陽会職員は、「愛・和・誠」を是訓として、日々の診療にあたっております。

- 1 患者は人としての尊厳を維持する権利を有する。
一陽会の職員は患者のプライバシーの保護に努めるとともに、人としての尊厳を重視する。
- 2 患者は納得できる医療を受ける権利を有する。
一陽会の職員は患者に必要な情報提供を行い、インフォームドコンセント(説明と同意)に努める。
- 3 患者は医療機関選択の自由の権利を有する。
患者にはいかなる治療段階においても他の医師等の意見をもとめる権利(セカンドオピニオン等)があり、一陽会はこれを支援する。

- 1 地域ニーズに応える地域密着型の病院をめざす。
すなわち、高齢化が進む今日、高齢者の急性期医療を担うという当院の役割を明確にする。その為に、病診・病病連携を密にし、紹介患者の受け入れ、及び回復後の逆紹介を励行する。
- 2 医療、介護、福祉の関連機関と協力して、在宅医療を支援・推進する。
また医療の質を高めることにより早期社会復帰、平均在院日数の短縮をはかり、急性期型病院を維持する。
- 3 腎疾患、糖尿病、透析を中心とした急性期医療を提供する。
特に透析医療では、当地区において中心的役割を果たすよう努力する。
- 4 患者中心の医療を目指す。
すなわち患者の権利、尊厳、利益、希望を尊重した医療を実現するため、相談窓口、検診機関を広く設け、積極的に実施する。

画像診断医 就任

画像診断医として、小林昌幸医師が就任いたしました。



小林 昌幸 医師

- ・広島大学 医学部(1986年卒)
- ・医学博士(1997年)
- ・日本放射線医学会 放射線科専門医
- ・日本放射線医学会 放射線診断専門医
- ・日本医学放射線学会 研修指導医

本年4月に、原田病院画像診断センターに着任いたしました小林昌幸と申します。

3月まで、県立広島病院放射線センター長として勤務しておりましたが、前任者の石根正博医師の退任に伴い、当院へ着任することとなりました。

当院は腎臓内科・透析内科を中心に診療している病院であり、それらに関連した疾患に遭遇することが多いのは事実ですが、それらに直接関連のない疾患や外傷を見ることも多く、CT、MRI等を診る上で、県立広島病院やその他、過去に在籍した病院での経験が役立っていることを実感しています。

当画像診断センターのスタッフは優秀で、常日頃から優れた画像を撮像してくれておりますが、CTもMRIも、日々技術が進歩し、被曝の低減、画質の向上、診断技術の開発が行われておりますので、従来の画像に満足することなく、これらの技術を取り入れ、診断装置を適宜更新して、更に一層地域の各施設の皆さまのお役に立てるよう努力して参りたいと存じます。原田病院ともども、今後ともなにとぞよろしく、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

病棟ナースコール更新

10月、ナースコールシステムを全更新しました。

新しいナースコールシステムでは、各病室入口の患者さんのお名前を常時掲示することなく、前を通った時のみ人感センサーで病室番号が表示されるようになり、通りすがりに名前を知られることがなくなりました。お見舞いの方が来られた際には、多床病室においても、その患者さんのお名前のみ表示いたします。名前の掲示を希望されない患者さんには今までも個別に対応しておりましたが、よりプライバシーへの配慮が行えるようになりました。

ナースステーション内のナースコールボードと各病室入口の表示は、看護師がネームラベルを作成・貼付していましたが、患者情報が電子カルテから即座に正確に反映されるようになり、患者確認ミスも軽減しました。

ナースステーションのボードでは、担送、護送などの人数表示など様々なデータを電子カルテから取り込み集計・表示が可能となり、避難誘導や患者さんの移動に素早く対応できます。

さらに、ナースコール、トイレコール、離床センサーコール、呼吸器コール、スタッフコールが音色で識別でき、看護師はリスクを想定して対応できるようになったため、医療ミスの軽減にもつながります。新ナースコールシステムの機能を活用し、より安全な看護に繋げていきたいと思ひます。

看護部 副部長 松村 佳江



スマートムーバー停留所(スマートストップ)設置:原田病院前

このたび、ひろでんモビリティサービス株式会社が運営する、五日市湾岸地区運行中の乗り合いバス「スマートムーバー」が原田病院前にも運行されることになり、原田病院玄関横(海老山薬局側)に停留所(スマートストップ)が設置されました。

SMART MOVER (スマートムーバー)

運行エリア:五日市湾岸地区

(佐伯区 宮島街道南側)

運行時間:9時30分~17時30分

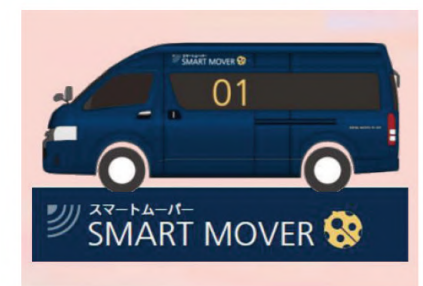
運賃:1回の乗車当たり200円

(大人(中学生以上))

支払いは、現金または交通系ICカード(PASPY、ICOCA等)

予約方法:スマートフォンのアプリ等で
予約時間と乗車ポイントナンバー・
降車ポイントナンバーを伝え、
予約番号を受け取る
TEL082-208-3033

※予約専用WEBページはこちら
(スマートフォンのみ)



運行エリア等の詳細は「ひろでんモビリティサービス」のホームページをご確認ください。

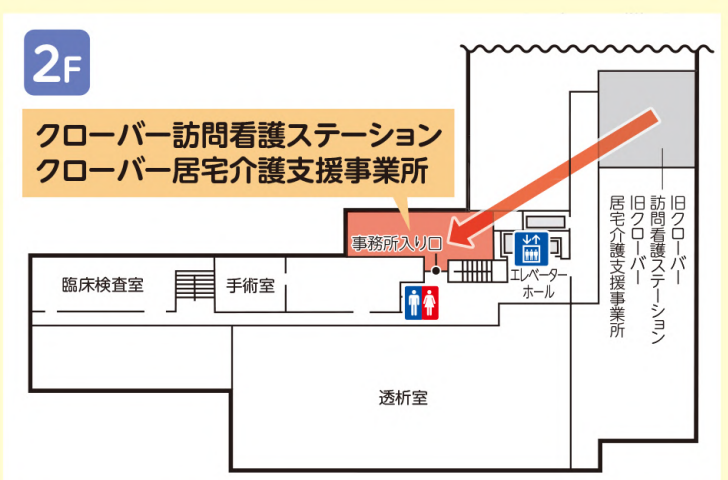
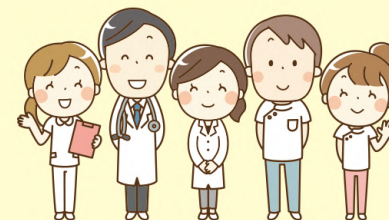


クローバー訪問看護ステーション 事務所移転

令和3年12月13日(月)より原田病院・2階エレベーターホール横に事務所を移転しました。

電話・FAX番号に変更はございません。

職員一同、気持ちを新たに、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



血液透析療法について ～シャント管理と穿刺～

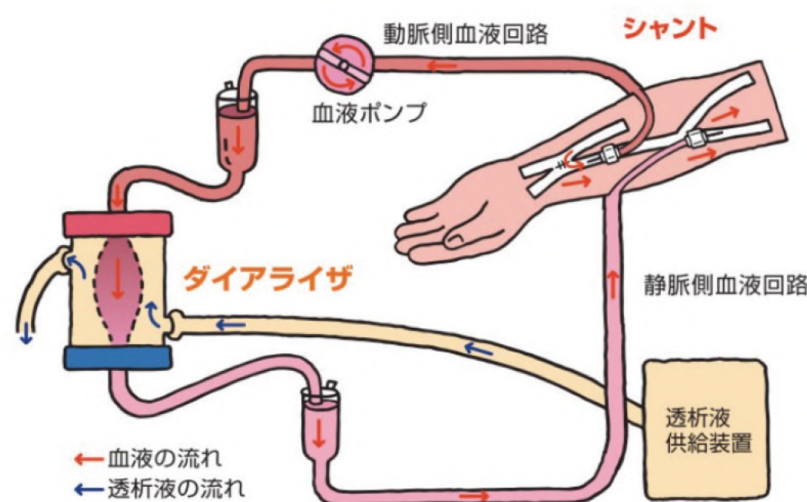


透析看護認定看護師
多川 和宏

慢性腎臓病を発症した場合、保存的な治療を受けながら、病状が進行し末期腎不全に至ると、回復する可能性がなく、尿毒症や高カリウム(不整脈・心停止)、心不全など重大な問題を引き起こすため、透析治療や腎移植を行う必要があります。一般的には腎臓の機能が正常の10%以下となり、薬でコントロールできない尿毒症症状・体液過剰(むくみ・心不全)・高カリウム血症・アシドーシス(酸血症)が出現した場合には、腎代替療法へ移行します。腎代替療法として血液透析療法、腹膜透析療法、腎移植などから治療の選択を行います。腎代替療法の中で最も多く

選択されているのが血液透析療法で97%の患者さんがこの治療方法を選択しています。

血液透析療法は、腕にあらかじめシャント(動脈と静脈をつなぐ手術)を作製しておき、その血管に針を刺して血液を体外に取りだし透析器を介して血液を浄化して体に戻す治療です。(図1)標準的には1回4～5時間かけて週3回透析が行える医療機関で治療を行います。



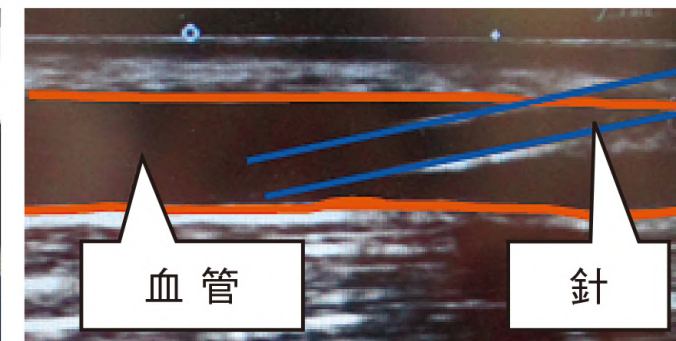
(図1) https://www.cick.jp/column/archives/448#outline_3

血液透析療法では血液を取る側(脱血)と血液を返す側(返血)の2本の針を穿刺する必要があります。穿刺は透析患者さんにとって最大の苦痛だといわれています。「穿刺が無事に終わったら、その日の透析はほぼ終わったようなもの」と安心される患者さんの話もよく聞きます。透析室のスタッフにとって避けては通れないシャントへの「穿刺」は、血管を直接見ることができない状況での把握や穿刺角度の決定など判断を迫られることの連続です。私も新人の頃は穿刺をする場面では、患者さんに「あなたで大丈夫??」「今日はいつもより痛い」「前回失敗されたから今日は失敗しないだね」など言われ、プレッシャーを感じながら患者さんと関わる毎日でした。穿刺を失敗するたびに精神的に追い込まれ、落ち込まない日はありませんでした。穿刺は患者さんやスタッフにとって、その日の血液透析療法がスムーズにスタートできるかどうかを左右する緊張する場面であり、重要な行為です。できるだけ失敗しないで、穿刺の成功率は上げるためには感覚や経験などが重要視されますが、常に正しい状況を判断し穿刺を行うことは容易ではありません。そこで近年穿刺の成功率上げるために用いられているのが「エコー機」です。(写真1)



(写真1)

患者さんにとって苦痛である穿刺にもエコー機を使用するようになり、血管を可視化して、針の向きや深さを調整することで、より確実に穿刺を行うことが可能になりました。それにより、穿刺の失敗回数を減らし、苦痛を最小限に留めて血液透析療法をスムーズに始めることが可能となりました。(写真2)



(写真2)

シャントは血液透析患者さんにとって命綱と言っても過言ではありません。シャントの管理において「視て・聴いて・触って」は最も基本的な手技です。患者指導を継続的に行い、スタッフの経験から未然にシャントトラブルの回避に努めていますが、シャントのトラブルが絶えないのも現実です。エコー機は客観的な評価が可能となってきています。シャントの血管の太さや細さ、浅いのか深いのか、穿刺時の針の走行など、ミリ単位で数値化でき、形態的、機能的評価を数値化できることで、シャントのトラブルを未然に防ぐことも可能となってきました。しかしながら、エコー機を扱うのに技術が必要なため、透析に携わるスタッフ全員が使用できるわけではありません。患者さんにとっても、スタッフにとっても穿刺でストレスを感じる中、血管を画面で可視化した状態で穿刺を行えることは、安心できるツールになることは間違いありません。そのため、一人でも多くのスタッフがエコー機を使用する技術を習得して穿刺を行い、シャントの機能を数値で評価することができれば、今以上にシャント管理、シャントトラブルの予防ができ、患者さんにとっての命綱であるシャントを長く持たせることができると確信しています。患者さんや家族にとって少しでも苦痛なく、安心・安全な透析治療を行うために、スタッフへの教育・指導が行えれば良いと考えています。

内視鏡システム更新

原田病院ではこのたびオリンパスの最上位内視鏡システム「EVIS X1」を導入しました。

新しい内視鏡システムには種々の最新機能が搭載されており、従来のシステムよりも病変の発見・診断の精度が向上いたしました。

EDOF：被写界深度拡大技術

近い距離と遠い距離のそれぞれに焦点が合った画像を同時に取り出し合成することで、焦点範囲の広い内視鏡画像を得る機能です。心臓の拍動や蠕動運動などで胃や腸が動いている状況でも焦点を合わせやすくなり、検査時間短縮・鮮明な画像を取り出すことができます。

RDI：赤色光観察

特定波長の光を照射することで、より深部のコントラストを形成する新しい画像強調観察技術です。検査・治療中の出血ために観察しにくくなった場合でも出血箇所が発見しやすくなり止血処置が容易になります。

TXI：構造色彩強調機能

粘膜表面の「構造(表面の凹凸など)」「色調」「明るさ」の3つの要素を最適化する画像技術です。通常では見にくい色の変化や凹凸が強調され、病変を見つけやすくなります。

NBI：狭帯域光観察

特定波長の光を照射することで、粘膜表層の毛細血管や微細構造が強調表示される画像強調観察機能です。がんなどの病変の早期発見や拡大観察を併用することで病変の悪性度や範囲などの高精度な観察が可能です。

このたびのシステム導入のみならず、これからも継続して質の高い医療を提供し続けるよう努めてまいります。



電話やスマートフォンを利用した 外来栄養指導開始!

自宅などから電話やスマートフォンでの栄養相談をお受けいたします(月1回)。数か月に1回の診察の方で、毎日の食事に不安を感じているけど栄養指導のためだけに来院するのは大変だと思われる方にお勧めです。

診察時に主治医へ「電話での栄養指導を予約したい」とお伝えください。予約後に電話番号を記入した予約票をお渡ししますので、ご予約の日時にお電話をおかけください。相談時間は、1回20分程度で、お支払いは、栄養指導後の次回診察日に会計窓口でお願いします。

ただし、2016年4月以降、当院で初めて栄養指導を受けられる方は、事前に管理栄養士と対面での相談が必要となります。

詳しくは、主治医・看護師・管理栄養士へお尋ねください。

栄養科 士長 藤岡 真弓



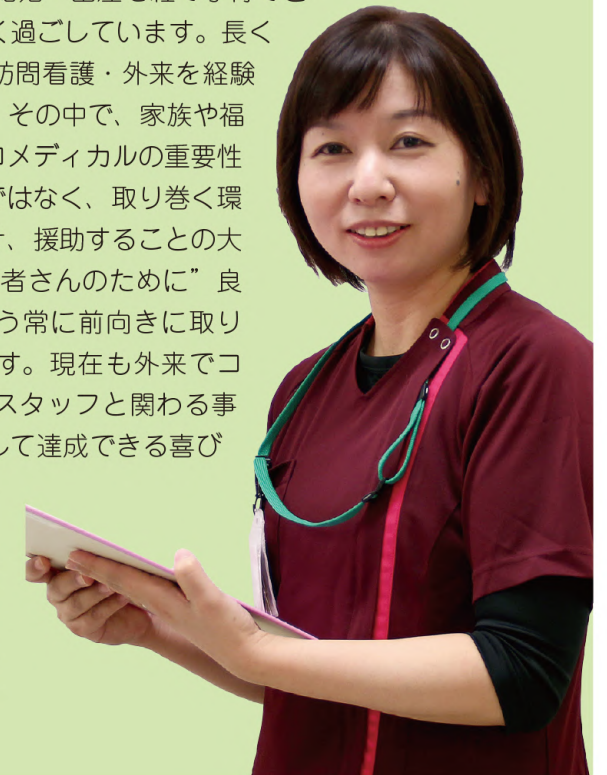
Column いきいきさん

看護部 外来
主任 田中 恵



「患者さんのために前向きに取り込むことが私の目標です」

平成14年に入職し、結婚・出産を経て子育てと仕事の両立で日々忙しく過ごしています。長く一陽会に在職し病棟・訪問看護・外来を経験させていただきました。その中で、家族や福祉機関・在宅診療などメディカル的重要性を感じ、患者さんだけではなく、取り巻く環境・生活にも視点を向け、援助することの大切さを学びました。“患者さんのために”良い看護が提供できるよう常に前向きに取り組むことが私の目標です。現在も外来でメディカルなど様々なスタッフと関わる事で見識が広がり、協力して達成できる喜びを感じることが出来ます。これまで経験させていただいた事を活かし、“患者さんのためにできること”を一番にこれからも努力していきたいと思っています。



健康レシピ 酒粕入り豚汁



今回は根菜たっぷりの酒粕入り豚汁の紹介です。

酒粕は、日本酒を精製する際に出る搾りかすで、たんぱく質、炭水化物、ミネラル、ビタミンB群など幅広い栄養を含む発酵食品です。酵母菌や麹菌などの善玉菌を含むため、腸内環境を整え、栄養を吸収しやすくする効果や免疫力をアップする効果が期待できます。根菜には善玉菌のエサになる食物繊維が豊富に含まれており、食べ合わせるには相性の良い食材です。

寒い冬に身体が温まる1品です。ぜひ、お試しください。

※酒粕はアルコールを含むため、お子様、妊娠・授乳中、お酒に弱い方はお控えください。

エネルギー：146Kcal／

たんぱく質：5.6g／脂質：7.2g／塩分：1.2g

《作り方》

《材料(4人分)》

豚肉	50g
大根	70g(3cm程度)
人参	20g(2cm程度)
さつまいも	60g(3cm程度)
ごぼう	20g(1/8本)
玉ねぎ	50g(中1/4個)
油揚げ	15g(1/2枚)
青ネギ	適量
☆酒粕	23g(大さじ1.5杯)
☆料理酒	15ml(大さじ1)
出汁(顆粒だし可)	800ml
味噌	36g(大さじ2)

①☆の材料を耐熱容器に入れ、電子レンジ500w30秒かけ、ダマがなくなるまでよく混ぜ合わせておく。

②材料を切る。

豚肉…一口大に切る
大根・人参…皮をむき、5mmのいちょう切り
さつまいも…5mmのいちょう切り 水にさらし、ザルにあげる。
ごぼう…皮をむき、2mmの斜め切り 水にさらし、ザルにあげる。
玉ねぎ…皮をむき、5mmのくし形切り
油揚げ…3mmの細切り
青ネギ…小口切り

③分量の出汁に、大根・人参・ごぼう・玉ねぎを入れ火にかける。煮立ったら、さつまいも・油揚げ・豚肉を加え、弱火で6～7分程度煮る。

④③に①と味噌を加え、ひと煮立ちさせる。

⑤器に盛り付け、青ネギをかける。

栄養士 大谷 梨乃